

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成19年度川西市生涯学習センター第2回運営委員会		
事務局 (担当課)	生涯学習部 生涯学習センター 内線4567 (757-8481)		
開催日時	平成19年10月31日(水) 13時30分～		
開催場所	生涯学習センター 1階0Aルーム		
出席者	委員	大塚啓子(委員長)、敷地勝成(副委員長) 山本房子、常行貞臣、大崎喜弘、大音裕子、石原 明、 田口 進、後藤哲雄 (欠席者:堀田啓子)	
	その他	生涯学習部長、生涯学習推進室長	
	事務局	寺本正廣、中定久紀、海野恵子、藤原育子	
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(1) 平成19年度レフネック第14期生の応募結果について (2) 平成20年度生涯学習センター事業計画について (1)レフネック事業について (2)レフネック優先入学枠及び応募方法について (3) アンケート調査の結果について (4) 平成19年度レフネック第13期生の修了式及び平成20年度第15期生入学式(予定)の日程について (5) 貸館の有料化について (6) その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

審 議 経 過

NO. 1

1. 開会

2. 生涯学習部長挨拶

3. 報告・協議

(1) 平成19年度レフネック第14期生の応募結果について

事務局 資料1のとおり報告

(2) 平成20年度生涯学習センター事業計画について

(1)レフネック事業について

事務局 資料2-(1)のとおり報告

(2)レフネック優先入学枠及び応募方法について

事務局 資料2-(2)を説明

19年度の入学倍率も「心理学科」は3倍近くまでなり、応募者が近年激増している。今年も落選した方から「初めての応募で抽選に外れた。何回も当選している人もおり、公平性に欠ける」との苦情があった。協議いただきたい。

委員 初めて受講する人のために、一度受講された方は休止期間を設けたらどうか。

委員 今の人気ある状態にするまでが大変だった。今後も内容によっては定員割れする可能性もある。

委員 開講科目が毎年変わるため、希望する学科の年度に申し込みができるように考えられないか。

委員 今後、団塊の世代の退職等でレフネックへの需要は増えると思う。

委員 この内容で受講料が15,000円は魅力がありすぎて需要増は当然。多くの要望に応えるため必要なら受講料の値上げも検討したらどうか。

委員 平成16年に改定し、この時期にまた値上げというのはいかがなものか。

委員 初回申込者が定員以内なら全員当選とし、経験者は我慢していただいたらどうか。

委員 経験者(OB)はレフネックの運営に重要で、学生委員会運営上の原動力となっている。

委員 逆にOB枠を設けて定員の半数以下に限定するなども検討したらどうか。

委員 今の優先枠が公平性を考えると弊害になっているということか。

委員 抽選で決定するのだから、当選・落選があって当然と考える。定員70人のうち概ね3割20人を優先枠と決めたのは平成17年度の運営委員会で、このときは多くの落選者からのご要望をもとに慎重に定めた。入学抽選を2回実施して、限られた人からの苦情で改めるのは早すぎるのではないか。

委員 定員増や平日開講も検討できないか。定員はそのまま、抽選方法だけを考えるのも本末転倒か。市民が本当に潤う運営方法を考えたい。

委員 施設的に定員増は困難。また、45人学級で好評だった頃のレフネックの学生生活動等の魅力も70人では実施しにくいとの声も聞く。事務局も努力しているが講義を増やしても質が落ちると元も子もない。

協議の結果

審 議 経 過

NO. 2

20年度の募集は18、19年度どおりとする。また、抽選方法は今後とも注視し、検討課題とする。

(3) アンケート調査の結果について

事務局 資料3を説明

(4) 平成19年度レフネック第13期生の修了式及び平成20年度第15期生入学式

(予定)の日程について

事務局 資料4を説明

(5) 貸館の有料化について

平成20年度中の実施を目処に事務を進めることです承

その他

施設高圧受電設備工事に伴う生涯学習センターの使用休止について

期間は平成20年3月10日から27日までの18日間(受付事務を除く)

中央公民館、文化会館いずれも同様

4. 閉会

※別紙資料は市政情報コーナーに備え付けています。